

平成29年第1回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 平成29年1月20日(金) 15:00~16:01

2 場 所 木島平村役場 第3会議室

3 出 席 教 育 長 内堀 幸夫
同 職 務 代 理 齋藤 定善
委 員 佐藤 秀雄
委 員 本山三智子

4 欠 席 委 員 山崎 麻紀

5 出席した事務局職員

教 育 次 長 高森 喜久

1 開 会 午後3時

2 前回会議録朗読承認（署名）

平成28年12月20日開催の第12回定例会会議録を高森教育次長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、承認し署名した。

次回から委員に会議録を事前に送付し、確認のうえ、定例会当日に承認、署名することとした。

3 教育長報告

- (1) 第11回定例会以降の主な行事(区長会、スキー大会週間等)について報告した。
- (2) 県教委連絡会の際に示された、非違行為、体罰、個人情報流出、人事等内容の要旨を資料1により報告した。
- (3) 次期の高校再編に関連して、下高井農林高校の生徒状況及び今後の人口年齢別人口等について資料5により説明した。
- (4) 長野県市町村教育委員会連絡協議会の際に示された資料2-1～2-3により報告した。

4 協 議

- (1) 平成29年度予算要求の概要について

○説 明

内堀教育長

現在、平成29年度予算編成に向けた財政担当のヒアリング及び理事者の査定が行われている。教育委員会費で総額402,984千円の予算要求をし、平成28年度に比べ7,280千円の増額となっている。詳細は高森次長から説明する。

高森次長

資料2により説明した。

内堀教育長

ただ今説明したように4億円を超える予算要求をしている。予算そのものは2月上旬に正式に決まる。その段階で改めて報告する。村の財政が厳しい中でも安全・安心には手を入れていかなければいけない。また、支援が必要な子どもへの対応も考えていかなければならない。

○質 疑 な し

(2) 教育委員会及び公民館長が委嘱する委員等の再任に制限を設ける事に伴う規則等の改正について

○説 明

内堀教育長

教育委員会及び公民館長が委嘱する委員等の再任に制限を設ける事に伴う規則等の改正について次長から説明する。

高森次長

スポーツ推進委員設置規則、公民館規則（専門部員・官報編集委員を含む）、公民館図書室管理規定（図書委員）の改正について、それぞれの部員・委員に係るものについて資料3に新旧対照表でしめしている。「委員は、再任を妨げない。ただし、通算10期20年を超えて再任はできない」という項目を付け加えた。

内堀教育長

前回の委員会の際にも非常に長く就任している方がいることを説明した。いろいろな方々に参加いただきたいということから10期20年を上限とさせていただきたい。それを形にするというものである。20年間あるので、その間に次の方を探していく。新しい人を探すのには十分な期間であり、例外なしで上限を決めた。承認後、村の法規審査委員会に諮っていきたいので、あらかじめ委員の意見を伺いたく提案する。

○質 疑

佐藤委員

それぞれの委員等は何人いるのか。体協とは違うのか。

高森次長

スポーツ推進委員7人、公民館専門部10人、公民館図書委員8人、公民館報編集委員5人となっている。体協については、今回の対象とはならない。体協は、各種スポーツ団体で構成された組織。

本山委員

現職の委員等はそれぞれに熱心に取り組まれていて、大いにありがたい。しかし、あまり長く固定しすぎるのも良くない。時代の流れと、その時のメンバーによって新しい意見や新しい見方がでてくるものなので、新陳代謝という意味から

も、改められればよい。

高森次長

委員等の年齢構成で、全体に中間層が不在となりバランスがとれていない委員会等もある。全体の構成を考えると、実施している事業や将来において引継ぎ等が円滑に出来るように、年齢構成等に配慮していかなければならない。

齋藤委員

逆に20年もできるのかという判断にもなるが、そういう立場に立った人たちが後継者を育てることが肝要。人員構成が固まってしまうと、新しい人が入ってくるができないのではないか。

内堀教育長

教育委員会もしくは公民館が委嘱している委員等は、いろいろな方をお願いしたい。新陳代謝も必要で、本当であればもう少し期間を短くしたい。一般的には10年が限度となっている。今回は、10期20年としているが、5期10年を目途に交代を促していくということだと思う。いわゆる例外的に10期20年というような運用をしていかなければいけない。20年やると思われぬように工夫していく。

佐藤委員

仕事のほうはどうか。それほどないのか。

高森次長

仕事はたくさんある。例えば運動会や村民祭など、大小さまざまな仕事があり、それぞれの委員等が設営等の一切を中心になってやっている。

佐藤委員

大変な役割を担うということは、長い間やることは大変だ。

内堀教育長

それでは、提案のとおりとして、村の法規審査委員会へ提出したい。

○出席者全員が了承した。

(3) 行事等の共催後援の承認について

○説 明

高森教育次長

次の1件について、後援申請がありました。

- ① 第20回中高飯水ソフトバレーボール大会
主 催：中高飯水ソフトバレーボール連盟

開催日：平成29年3月5日（日）9時～

会 場：木島平村体育館

20回目の開催であり、過去についても毎回後援承認をしているので、承認してもよいと考え提案する。

内堀教育長

次長からの説明があったように20回という歴史があり、過去も承認している。承認として良いか。

○出席者全員が承認した。

5 報 告

(1) 保育園及び小中学校の状況について

高森教育次長が、資料に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。

高森次長

○説 明

小・中学校の共通事項で、通学路の積雪に対する安全対策として1月17日に建設課・民生課・教育委員会・学校教職員で、村内の通学路を中心に安全パトロールを実施した。落雪等の恐れがある家については、訪問して雪下ろしなどの対応を直接お願いした。雪下ろしをした後に道路が狭くなったところも同様をお願いした。今後は、結果に基づき、学校から児童生徒へ危険箇所に注意するよう伝え、安全対策を徹底した。

6 当面の日程

(1) 諸行事・会議等

高森教育次長が、資料に基づき諸行事・会議等について説明した。

(2) 次回定例会

高森教育次長が、平成29年度第2回教育委員会の開催日程について提案した。

全委員が了承し、「平成29年2月24日（金）午後1時から」開催することに決定した。

(3) 木島平村社会福祉協議会理事の推薦について

○説 明

高森次長

今まで齊藤委員が社会福祉協議会の理事に就任していたが、12月28日付で辞職願を提出された。1月11日付で社会福祉協議会から理事の選出依頼があったので、齊藤委員の後任の選出をお願いしたい。

齊藤委員

従来、当て職のような形になっていたが、教育委員長を退任しているので12月の理事会において辞職を提出した。公民館長在任中から理事を務め、理事の中では最長となった。継続する大きな課題もあるので、ある程度続けられる方をお願いしたい。理事会で、理事の人数を減らしたいという意見もあり、設立当初とは内容が変わってきている。この時期に変わった方がよいと考え届出をした。

内堀教育長

齊藤委員、長い間ありがとうございました。教育委員ということで本山委員にお願いしたい。

○本山委員が承知し、他の委員も了承した。

7 閉 会 午後4時6分

内堀教育長が閉会を宣した。

以上、会議の顛末を記録し、相違ないことを証するため署名する。

教 育 長 川 堀 幸 夫

同職務代理 齊 藤 定 善

委 員 荒 瀬 秀 雄

委 員 本 山 三 智 子

委 員